

# 日蓮聖人門連だより

発行  
日蓮聖人門下連合会  
〒146-8544  
東京都大田区池上1-32-15  
電話 (03) 3751-7181

平成17年1月1日  
第31号

## 京門連「日蓮大聖人お會式万燈行列」 三十三年ぶり復活

京都日蓮聖人門下連合会理事長

### 矢放眞文



運聖人門下本山会の当番本山が会場となり法要を厳修し、合わせて總會を開催して全てにおける決議がなされます。

「開宗会」は比叡山の定光院での法味動上を主たる目的とし、合せて延暦寺大講堂に安置されています日蓮大聖人の御尊像の御前にて法味動上の後、京門連会員から選出された講師による講演会を行なっております。

「夏季大学」は法華宗本門流大本山本能寺を会場として、三部構成にて、第一部は降誕会同様、当番本山の貫首親下を講師としてお迎えし御講義を頂戴します。第二部は、宗門大学より講師を派遣して頂き、専門分野の講義を聴講します。第三部は、一般大学等より講師依頼をして文化講座的な講義内容としております。

### ●活発な京門連の活動と組織

として、それぞれの年会費をもって運営しております。

協賛として、日蓮宗側(大本山妙顕寺・大本山本願寺・本山頂妙寺・本山本満寺・本山妙覚寺・本山本法寺・本山立本寺・本山妙伝寺)、法華宗側(法華宗本門流大本山本能寺・顕本法華宗本山妙満寺・法華宗陣門流本山本願寺・日蓮本宗本山要法寺・法華宗真門流本山本隆寺・本門法華宗大本山妙蓮寺・顕本法華宗本山寂光寺)の十五本山で組織する京都日蓮聖人門下本山会があり、「主伴会」と称し、年二回の親睦会を開催しております。

また、日蓮宗側は「八山会」、法華宗側は「法華門流懇話会」をそれぞれに開催しております。

### ●門下共通の研鑽の場として

「降誕会」は二月十六日に京都日蓮聖人門下本山会が会場となり法要を厳修し、合わせて總會を開催して全てにおける決議がなされます。

### ●三十三年ぶりの復活に向けて

「お会式」京門連設立当初は、円山音堂にて結集お会式法要を厳修後、祇園の石段より京都繁華街の目抜き通りである四条通り―河原町通り―御池通りを経て、本能寺にて散会となる「日蓮大聖人お會式万燈行列」が何度となく奉行されておりましたが、諸事情により昭和四十六年を最後に中止せざるに至り以後、当番本山を会場としてご報恩お会式法要を奉修しております。いずれの諸行事も毎年二百ないし三百名の参加者があり、本年はそれぞれに第四十回を迎えますこと、京門連に関わる先師・先哲の先輩上人方の賜であることを念頭に法華経弘通、お題目の広宣流布のために尽力をつくしております。

この度の「日蓮大聖人お會式万燈行列」三十三年ぶり復活の機運は、先の立教開宗七百五十周年の吉辰より、京門連の理事会等で語られるようになり、本年まさにその好機に恵まれ、約千人による万燈提灯行列を前例に従い無事遂行いたしました。当日の宣言文を記載し、筆を止めさせていただきます。

## ●宣言文●

南無久遠実成・大恩教主・釈迦牟尼世尊のみ教えは三千年を経た今日もなお、生きとし生ける全世界の人々のともしびとなりて燦然とかがやいております。その釈迦牟尼世尊の教えは、現実世界に闘争と罪惡のすべてが消え果た、絶対平和の世界をうちたてる、妙法蓮華に帰することでありませぬ。

日蓮大聖人は釈尊の最後の、み教えである法華経にこそ、唯一の真実と救いがあることを示され、自らその教えの、実践者として、大難四ヶ度・小難数知れず、死生をふみこえ、法華経のやすらかな仏国土たらしめん、一天四海・皆帰妙法を祈られた聖者であります。七百二十一年前の弘安五年十月十三日、六十一歳の涙と慈悲の生涯を閉じられました。日蓮大聖人を偲びまいらすことは、正法を建立し、一閻浮提の人々を安穩にすること、すなわち立正安国の祈りである「南無妙法蓮華経」を心を一つにして、唱えることでもあります。

現代は豊かな社会といわれていますが、心が豊かであるとはいえないでしょう。地球規模の自然破壊が進み、地震・台風等の災害、無惨な犯罪、子供への虐待など、悲惨な事件ばかりです。またいま同じ時に地球のどこかでは、戦争で命を失う人、飢えと病気に苦しむ数多くの人々があります。

大聖人は、「国土の盛衰はそこに住む人間の精神の反映である」と申されております。いま将にこのお言葉を真摯な態度で受け止め、私たちが今一度、正しい信仰を持つことを誓いし、法華経の心であり体であり所詮である「南無妙法蓮華経」の七文字を旗印に、本日京都日蓮聖人門下連合会・京都日蓮聖人門下本山会主催「日蓮大聖人お會式・万燈行列」の意義とすることをここに宣言いたします。

平成十六年十月二日

京都日蓮聖人門下連合会理事長 矢放眞文

## ●從地涌出

▼平成十七年乙酉の歳を迎えた。そこで西について話してみよう。▼ちよつとその前に今年二月九日が旧暦の元旦だが今は新暦が主流だ。中国から日本に伝えられて一四〇〇年。旧暦は繊細な季節の変化と寄り添いながら、徐々に姿形を調え、日本仕様のカレンダーとして定着した。明治六年に西洋歴が採用されてからも、旧暦は、農業・漁業・伝統芸の世界では、必要不可欠な自然暦として継承されている。勿論、宗教・仏教の世界においてもそうに違いない。自然とともに生きる知恵に満ち、七十二もの季節をこまやかに味わい暮らすことができる旧暦は、まさにエコカレンダー。「日本人はみな昔から知っていたはず。月の力、太陽の動き、眼に見えない風のそよぎを感じ、暮らしに役立てることを……」(旧暦と暮らし 松村賢二著)。旧暦愛好者の筆者としてはザンネン！日本人の暮らしの知恵を忘れさせた、心のかよわぬ「西洋暦」斬り！



書・石橋湛山

▼さて話は本題にもどして、西の話を。「おとりさま」ってご存知？ 東京・浅草において毎年十一月の酉の日に行われる「酉の市」。その舞台が、日蓮聖人門下の鷲在山長国寺(法華宗本門流)。門前に「鷲山見大菩薩」の立て札があり、浅草田圃「酉の寺」と称されている。寺伝によると「文永二年(一二六六)日蓮大聖人が上総国鷲巢(千葉県茂原市)の小早川家(大本山鷲山寺)に滞留の折、国家平穩の祈願をこめたところ、十一月の酉の日に妙見さまが鷲に乗って示現したのがはじまり」という。この「鷲山見大菩薩」は(鷲大明神へおとりさま)とも呼ばれ、たいへん靈験があり、江戸に出開帳したところ、市がたつほどの信仰を集めてこのお寺が出来たという。となりの鷲神社は、明治政府の神仏分離令によりお寺と神社に分割されてきたもので、「鷲山見大菩薩」は今尚、長国寺に安置されている。(丈)



ポスト750 宗門布教の方向性 第8回 日蓮本宗

# 意識改革は「渴仰」と「恋慕」から

日蓮本宗 宗務総長  
**桐生信行**



## 新しい形式での 慶讃大法要を奉修

地震・台風などの災害や残酷な犯罪などが多発し、ますます混乱を深めている昨今であります。現代において布教の方向性はいかにあるべきかが、それぞれの日蓮聖人門下各派各派にとって大きな課題となっておりあります。そうしたなか、平成十四年に立教開宗七百五十年という聖辰を迎えました。日蓮本宗における慶讃の弘宣活動と法要を紹介し、さらには宗門の展望を述べさせていただきます。

## 立教開宗七五〇年の 記念事業

平成十一年から立教開宗七五〇年記念事業委員会（東山豊次委員長）を開催し、委員会において討議を重ね、七百五十年記念事業として「宝蔵」の建設、「本門宗綱要」の出版、檀信徒用「仏事の心得」の編集出版などの計画方針を決定しました。

「宝蔵」は本山所蔵の国指定重要文化財と、先に解体した「宝蔵」に収蔵されていた各種霊寶等並びに、「経蔵」に収蔵されていた各種經典、版本・古文書等を安全に一括収蔵し、永く後世に伝える施設として建設しました。

「本門宗綱要」は、昭和二年に出版が計画され、草案原稿が作成されましたが、諸般の事情により未刊行であったので、その草案原稿を活字版組みにし、布教の一助とする為に出版した。

「仏事の心得」は、全国檀信徒に本山要法寺の伝統的な仏事作法を在家版として再構成し出版した。

平成十三年には立教開宗七百五〇年慶讃大法要委員会（長崎秀要委員長）を設置して、大法要に向けての本格的準備に着手しました。立教開宗七五〇年を真に意義あらしめるために、日蓮の弟子檀越として祖山要法寺に一大結集し、末法救済の色説宣布、次代の礎を築くことを目標として掲げました。

法要委員会では、立教開宗七五〇年を意義あるものとするために大法要の聖日には檀信徒を本山に終結することを定め、清澄に赴いて採火することや建設完成予定の宝蔵での重文「経宮」宝物展覧などの事業を実施した。

四月二十八日の慶讃大法要においては、新世紀劈頭と立教開宗の慶瑞にふさわしい清新な法要スタイルを構成し、青壮年教師と若年信徒多数を主体として、従来の定形法式を脱却し、唱導隊・現代音楽の演奏・転法輪の多彩なプログラムを進行し、一千名をあげる参詣檀信徒に新鮮な驚きと感動を共有して、本宗教団の将来する展望に明るい燭光を得たと自負しております。（総括報告書より抜粋）

## 御降誕八百年に向けて

本宗は王城御開山日尊上人開闢會七百年慶讃大法要委員会を平成十六



本山要法寺（本堂・開山堂（左））

年六月二十四日に発足し、平成二十四年七月の法要奉修にむけて事業内容の詳細を検討中です。

宗門の目指すところは日蓮門下の僧俗をはじめ一般参拝者をも迎える前提で、長期計画し日蓮門下との親交を重ね、僧俗ともに広くは仏教界全体と門下の共存共栄の姿を内外に示す事を目標としています。

現状を観察すると法縁・血縁に依る寺院護持も困難な状況にあります。これを打破するためには早急な意識改革が求められています。

現在の社会情勢から寺院に求められている本来の役割を再確認するならば、寺院は常に地域文化活動の拠点であり、最新の情報発信源でありました。また、大衆の交流の場として公共性の強い面を維持できましたが、近年は寺院の世襲制と一般家庭の核家族化等の影響によって多種多様な形態が生じています。

この貴重な経験に基づき優劣の争いから生じた分裂の歴史を個性の尊重へと意識改革を進め元来一体の姿を

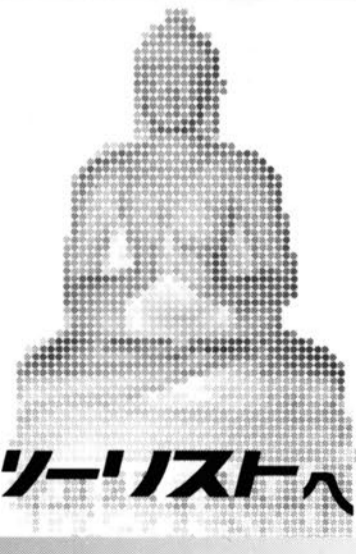
顕現する事こそ地湧の菩薩行と考えます。

## 御降誕會は渴仰と 恋慕の心で

妙法蓮華經如来寿量品第十六に曰く、「故不為現身、令其生渴仰、因其心恋慕、乃出為說法、神通力如是（故に為に身を現せずして其れをして渴仰を生ぜしむ、其の心恋慕するに因つて乃ち出て為に法を説く、神通力是の如し）」とあるように、門下、弟子檀那一同の集団意識が渴仰と恋慕の心を持った時に其の処に日蓮聖人が御降誕されて法が説かれる。このように御降誕の意義を捉えて、我慢偏執の心を改め「渴仰」と「恋慕」の信仰を日々積重ねることが、御降誕會の実の報恩行であると確信して来たる平成三十二年を迎える事を誓います。

釈尊のふるさと

# インド仏蹟めぐりは



## 近畿日本「ツーリスト」へ

西日本地区

京都支店 〒604-8005 京都市中京区河原町三条  
Tel 075-221-7631 Fax 075-223-5192

東日本地区

東京中央支店 〒101-0052 東京都中央区八丁堀4-8-2  
Tel 03-5543-2951 Fax 03-5543-2961

# 恭賀新春

平成十七年乙酉



## 日蓮聖人門下連合会

平成十七年一月現在

### 日蓮宗宗務院

管長 藤井 日光 財務部長 渡辺 照敏  
 宗務総長 岩間 湛正 宗務総長室長 遠藤 文祥  
 伝道局長 栗原 正震 現代宗教研究所長 田澤 元泰  
 総務局長 中條 令紹 参 与 堀江 宏正  
 伝道部長 田端 義宏 参 与 浅井 玄裕  
 教務部長 中里 観正 日蓮宗新聞社社長 長 亮行  
 総務部長 垣本 孝精

〒146-8544 東京都大田区池上一-132-115  
 電話 〇三(三七五)七-八一  
 FAX 〇三(三七五)七-一八六

### 法華宗(本門流)宗務院

管長 川口 日唱  
 宗務総長 渡辺 俊岳  
 財務部長 佐藤 義賢  
 教学部長 佐々木 明乘  
 教化部長 高村 法顕  
 庶務部長 有田 秀達

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-1-19-1  
 電話 〇三(五六一)四三〇五五代  
 FAX 〇三(五六一)四三〇五六

### 顕本法華宗宗務院

管長 中山 日咲  
 宗務総長 中村 通義  
 宗務次長 島田 幸晴  
 財務部長 藤崎 行学  
 布教部長 早川 義正  
 教務部長 桑村 信慶  
 社会部長 多門 顕正  
 庶務部長 津村 乘信

〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一  
 電話 〇七五(七九二)七-七一  
 FAX 〇七五(七九二)七-二六七

### 法華宗(陣門流)宗務院

管長 鈴木 日艸  
 宗務総長 土屋 善敬  
 総務部長 佐古 弘文  
 教学部長 門谷 東生  
 財務部長 八木 恵岳  
 教化部長 佐古 大弦  
 宗務参事 大島 崇皞

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-135-1-6  
 電話 〇三(三九一)八七二九〇  
 FAX 〇三(三九一)八七二九〇

### 本門佛立宗宗務本庁

講 有 小山 日誠  
 講 尊 梶本 日裔  
 講 尊 野崎 日丞  
 宗務総長 山内 日開  
 宗務副総長 石田 日奥  
 宗務副総長 嶋田 幾雄

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上冬東整町一〇番地  
 電話 〇七五(四六一)一一六六代  
 FAX 〇七五(四六一)五五九九

### 日蓮本宗宗務院

管長 嘉儀 日有  
 宗務総長 桐生 信行  
 総務部長 岩崎 広義  
 財務部長 渡邊 光顕  
 教務部長 西尾 弘道

〒606-8362 京都市左京区新高倉通橋上ル法皇町四四八  
 電話 〇七五(七七二)三三三九〇  
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

### 法華宗(真門流)宗務庁

管長 上川 日乾  
 宗務総長 竹内 正道  
 総務部長 上田 浩岳  
 教学部長 辻本 寛孝  
 教化部長 木村 完祥  
 財務部長 堀村 智泰  
 社会部長 井上 隆啓  
 主事 本多 信正  
 主事 足立 真正  
 主事 山口 英泰

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇  
 電話 〇七五(四四二)五七六二  
 FAX 〇七五(四四二)五七六六

### 本門法華宗宗務院

管長 高邊 日援  
 宗務総長 信隆 日系  
 宗務部長 増田 隆雄  
 総務部長 吉村 頼彦  
 財務部長 土畑 信教  
 教務部長 音羽 隆全  
 庶務部長 真鍋 弘喜  
 門連常任理事 山下 通雄

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東大寺町八七五  
 妙蓮寺内  
 電話 〇七五(四五二)三五二七  
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

### 宗教法人 国柱会

賛主 田中 暉丘  
 理事長 古知 毅彦  
 門連常任理事 石見 良教  
 門連理事 井上 寶護  
 門連理事 相澤 宏明

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-19-1-18  
 電話 〇三(三六五)七-二二〇  
 FAX 〇三(三六五)九-九八〇  
<http://www.kokuchukai.or.jp>

### 京都日蓮聖人門下連合会

会長 上川 日乾  
 副会長 久村 日鑿  
 理事長 矢放 眞文  
 副理事長 杉若 恵隆

京門連事務局  
 〒602-8447 京都府京都市上京区紋屋町三三〇  
 法華宗真門流総本山本隆寺内  
 電話 〇七五(四四二)五七六二  
 FAX 〇七五(四四二)五七六六

### 日本山妙法寺大僧伽

主座 塙 行幸  
 長老 石山 定光  
 長老 吉田 行典  
 長老 酒井 天信  
 長老 今井 行康  
 長老 二宮 和嘉  
 長老 池田 行朗

日本山妙法寺大僧伽事務局  
 〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七-1番地  
 電話 〇四二(三七八)三三九五  
 FAX 〇四二(三七九)〇七四四



# 恭賀新春

平成十七年乙酉

日蓮聖人門下連合会

(平成17年1月現在)

<p>法華宗(陣門流)総本山 <b>本成寺</b></p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一丁目二〇 電話 〇二五六(三三三)〇〇〇八</p> <p>貴首 鈴木日 執事 栗田孝之 執事 平井正 執事 鈴木正 執事 高橋正 執事 荒川俊二 執事 西山公孝 執事 山聡達</p>	<p>顕本法華宗総本山 <b>妙満寺</b></p> <p>〒606 0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七二七一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p> <p>貴首 中山日 執事 島田幸晴 執事 山本晃道 執事 中村英司 執事 湯原正純 執事 補算義就</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>池上本門寺</b></p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一丁目一 電話 〇三(三七五)二二三三 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>貴首 酒井日慈 執事 早水日秀 役員一同</p>	<p>日蓮宗総本山 <b>身延山久遠寺</b></p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(二二)一〇一一 FAX 〇五五六(二二)一〇九四</p> <p>法主 藤井日光 総務 井上瑞雄</p>
<p>本門佛立宗本山 <b>宥清寺</b></p> <p>〒606 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇五 電話 〇七五(四六三)四六二〇代 FAX 〇七五(四六三)四六五一</p> <p>住職 小向日誠 執事 田中清希 執事 伊藤隆之 事務局長</p>	<p>多寶富士山 日蓮宗 <b>本山要法寺</b></p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p> <p>貴首 嘉儀日有 執事 丹治日遠 執事 桐生信行 執事 岩崎広義 執事 渡邊光頭 執事 西尾弘道</p>	<p>本門法華宗大本山 <b>妙蓮寺</b></p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p> <p>貴首 高邊日援 執事 石崎光教 役員一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 <b>本隆寺</b></p> <p>〒602 8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四二)五七六二 FAX 〇七五(四四二)五六六六</p> <p>貴主 上川日乾 執事 矢多信正 執事 本立真正 執事 足立真正 書記 笹木研吾 書記 永岡悠希</p>
<p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 <b>富士山重須本門寺</b></p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p> <p>貴首 本間日諄 参 与 井出教道 参 与 坪井親雄 参 与 井野上正文</p>	<p>日蓮宗本山 比企谷 <b>妙本寺</b></p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一丁目一五 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二二)六九六七</p> <p>貴首 加藤日暉 執事 大埜稔申 執事 立野正泰 山務役員一同</p>	<p>京都八本山会</p> <p>大本山 本圓寺 貴首 久村諦道 大本山 妙顯寺 貴首 南條孝仁 大本山 頂妙寺 貴首 永田恵遠 大本山 妙覺寺 貴首 頂岳龍乘 大本山 本満寺 貴首 伊丹栄彰 大本山 本法寺 貴首 大塚泰詮 大本山 立本寺 貴首 上田尚正 本山 妙傳寺 貴首 野々垣泰典</p>	<p>日蓮聖人出家得度《報恩》の靈跡 大本山 <b>清澄寺</b></p> <p>〒209 5505 千葉県安房郡天津小湊町清澄三三二一 電話 〇四七〇(九四)〇五二五 FAX 〇四七〇(九四)〇五二七</p> <p>別当 岡崎日泰 団参には是非、研修会館をご利用ください。 一名八千円、二百名様まで可。</p>
<p>日蓮門下お題目初唱之靈場 日蓮宗東身延本山 <b>藻原寺</b></p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一丁目一 電話 〇四七五(二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二)一一七三</p> <p>貴首 持田日勇 執事 増田寶泉 役員一同</p>	<p>日蓮宗本山 <b>頂妙寺</b></p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p> <p>貴首 永田恵遠 参 与 山田信行 同 安藤隆司 同 伊藤隆司 執事 藤井照孝 執事 二之部陽雄 同 川合陽雄</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 <b>堀之内妙法寺</b></p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三丁目八八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p> <p>山主 嶋田日新</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>法華経寺</b></p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二丁目一〇一 電話 〇四七(三三四)三四三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p> <p>貴首 新井日湛 執事 渡辺貞観 参 与 田代浩敬 同 喜多村教雅 同 渡辺行俊 同 植田観樹</p>

# 門連時報

## 全門連京都理事会・

## 懇親会、法華宗真門流

## 総本山本隆寺で開催

平成十六年十一月二十五日(木)、法華宗真門流総本山本隆寺(上川日乾貫首)に於いて「全門連京都理事会・懇親会」が開催され、各本山貫首をはじめ門連役員あわせて約四百名が参加した。

正午に集合し、昼食後、午後一時より上川日乾貫首御導師のもと、法味を言上。宗務庁前にて記念撮影の後、午後二時より研修室にて上川日乾貫首による「本隆寺の沿革」について大変貴重なお話を拝聴した。

引き続き、午後二時半より「常任理事会」が開催された後、午後三時十五分より「京都理事会」が開催された。参加者各自の自己紹介の後、岩間湛正全門連理事長が座長となり、議題について議事を進行。全門連上半期事業報告、京都門下連合会の活動報告、大阪門下懇話会の行事並びに活動報告があった。また、大日蓮展の全記録をDVDにして保存することが決定され、その他にも降誕八〇〇年慶讃事業に向けての活発な議論が展開された。

会議終了後、懇親会の席をセンターホテル「瑞鳳の間」へと移し、京料理を堪能した。

今回種々お世話いただきました京門連の各聖、本隆寺の皆様には厚く御礼を申し上げますと共に、今後とも門下発展の為に御尽力賜り度く重ねてお願い申し上げます。



日蓮聖人門下連合会 京都理事会 平成16年11月25日 於 法華宗真門流 総本山 本隆寺

### 三十三年ぶりに復活!! 日蓮大聖人 お會式万燈行列

京門連主催の「日蓮聖人お會式万燈行列」が三十三年ぶりに平成十六年十月二日開催された。参加した檀信徒は約六百名。京都東山にある円山音楽堂で法要が営まれた後、一人一人に手渡された提灯に火をともし、週末で賑わう京都一の繁華街、祇園・四条河原町を練り歩いた。行列の先頭には、京都明德高校吹奏楽部のプラスチックバンド隊、続いて纏、日蓮聖人尊像、行脚隊、そして、人力車に乗った門下連合会の各本山貫首、そして集まった檀信徒が後に続いた。約二時間をかけて本能寺に到着。参加者は口々に「是非来年も続けて開催してほしい。また必ず参加させてもらいます」と語った。(理事長報告は第一面に掲載) (三木天道)

### 『日蓮聖人の教義』 復刊される

国柱会創業百二十年記念事業の一環として、昨年十一月、田中智学著『日蓮聖人の教義』が復刊された。本書は明治四十三年に初版が発行されるや、全編に横溢する信仰の情熱、分かりやすい簡潔平易な解説、百科辞典的な豊富な資料等によって宗門内外の注目を集め、じつに二十五版をかさねるベストセラーとなった。昭和十五年以降絶版となっていたが、今回新編によって復刊したものである。

「その平易な内容は、今日でも十分な説得力を持って人々に受け入れられ、人生の指針となること疑いありません」

(藤井日光院下)

「本化の教義の真髄を開法隨喜し略解言趣せしめる名著良書として、

私は何度か精読し拙著に引用もし、その学恩を思い知るものです」

(伊藤瑞樹立正大学教授)

「初版から数えて九十七年目にして、不滅の名著がふたたび世に送られると聞いて、まことに慶賀に堪えません」

(渡邊寶陽立正大学元学長)

などの推薦の辞が寄せられ、予約の段階から好調な売れ行きを示している。宗門人はもちろん、広く一般の人々にもお勧めしたい。(石見良教)

『日蓮聖人の教義』A5判七三六頁 定価八千四百円(税込)

発売元・東京都江戸川区一之江 六十九十八真世界社  
☎〇三三三六五七一一  
FAX〇三三三六五九八〇



年月日	氏名	宗派	門連役職
平成一六・六・二八	杉本日慈師	本門法華宗	顧問
平成一六・六・二八	高邊日援師	本門法華宗	顧問
平成一六・六・二八	高邊日援師	本門法華宗	理事
平成一六・七・六	信隆日系師	本門佛立宗	顧問
平成一六・七・六	野崎日承師	本門佛立宗	顧問
平成一六・七・六	野間正明師	日蓮本宗	常任理事
平成一六・七・六	桐生信行師	日蓮本宗	常任理事
平成一六・一一・二二	大塚日正師	法華宗本門流	顧問
平成一六・一一・二三	川口日唱師	法華宗本門流	顧問

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔…

## 宗門唯一の 日蓮宗新聞

伝道機関紙 毎月1日・10日・20日  
年間購読料3,600円(送料込)

教誌



一冊350円(送料別)  
年間購読料1,700円(送料込)

○年4回発行  
お正月(1月号)/春季彼岸(3月号)  
お盆(7月号)/お彼岸・お会式(9月号)

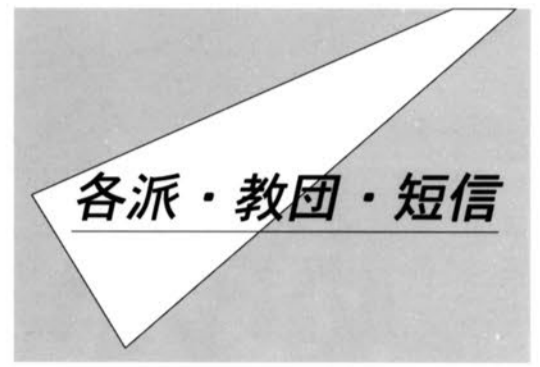
詳しくは…

### (株)日蓮宗新聞社

〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3  
TEL.03-3755-5271 / FAX.03-3753-7028  
nichiren@t3.rim.or.jp  
http://www.t3.rim.or.jp/~nichiren/  
(業務時間 午前9時30分~午後5時)

### 日蓮宗新聞社のお店

〒146-0082 東京都大田区池上4-18-1  
TEL&FAX.03-3755-6462  
(業務時間 午前10時~午後4時)  
※いずれも土・日・祝・祭日休み



各派・教団・短信

本門法華宗

平成十六年七月十三日に開催された大本山妙蓮寺責任役員会において新貫首として高邊日援現下(久成寺住職)が選任され、八月二十六日に内晋山式を奉修し、石崎光教執事長(玉龍院住職)以下新役職が委嘱され就任した。

日蓮宗

岩間湛正宗務総長を団長とする第十一次日蓮宗中国訪問使節団を結成、平成十六年六月二十二日から二十九日まで、北京市中国仏教協会への表敬訪問と、鳩摩羅什三蔵法師が日蓮宗徒の經典「妙法蓮華經」を翻訳した西安市草堂寺参拝・天台大師智顛開創による浙江省天台山国清寺参拝を三本柱に各地を訪問した。

日蓮本宗

七月一日、「日蓮本宗宗憲、規則、規程」および「本山要法寺規則」を施行。二日、宗会議員選挙券を、六日、第七十九回臨時宗会・門

法華宗本門流

十一月十三日、大本山光長寺貫首川口日唱現下が第百二十六代法華宗管長に就任、同日推戴式が同本山において奉修された。併せて門下連合会顧問にも同日付をもって就任された。

法華宗本門流

十一月十三日、大本山光長寺貫首川口日唱現下が第百二十六代法華宗管長に就任、同日推戴式が同本山において奉修された。併せて門下連合会顧問にも同日付をもって就任された。

国柱会

全国各地方連合局において、講習会、本化儀典研修会、婦人の集いを開催。都内はじめ日本全国日蓮主義街頭演説活動実施。毎月第三日曜日、妙宗大靈廟例月供養会厳修。毎週一回日蓮聖人御遺文輪読会開

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

十一月十三日、大本山光長寺貫首川口日唱現下が第百二十六代法華宗管長に就任、同日推戴式が同本山において奉修された。併せて門下連合会顧問にも同日付をもって就任された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

法華宗真門流

各種講習会開催。青年僧、学生僧を対象とした教学講習会が、八月二十三日、二十九日まで総本山本隆寺にて開催された。

ぶんづうる ぶんづうる ぶんづうる ぶんづうる ぶんづうる

書店をのぞくと仏教関連の本の多さに驚く。その中でも目に止まったのが上田紀行氏の『がんばれ仏教』である。本書はお寺や僧侶としての活動の可能性を示唆し、仏教者の生き方とは何かと問う指南書と見る事も出来る。見方も千差万別、賛否両論があるかもしれないが現代仏教に対する警鐘として受けとめ、今、何が出来るのかを考えさせられる一冊である。